

第1章 10年後のまちの姿

勝山市が目指す **10年後のまちの姿** は次のとおりとします。

わいわい わくわく 安全安心のまち かつやま

10年後の勝山市に関わるすべての人々が、安全安心の中で、笑顔があふれ、わいわいわくわく暮らしている。そのようなまちを創ります。

10年後のまちの物語

2031年。勝山に住む人や訪れる人、子どもや若い世代、お年寄りがみんな楽しく交流し、いきいきと暮らしている気がする。

きっかけは「恐竜」や「ジオパーク」だったかな。

最初に「恐竜」や「ジオパーク」で観光産業が盛り上がり、それをさらに盛り上げようと、ジオパークに関連した地域資源の保全・保護活動が地域住民の手で行われるようになり、その活動を将来に引き継ぎたいとESD[※]が活発になったんだ。

そこから「恐竜」や「ジオパーク」を目当てに勝山を訪れる人、「恐竜」や「ジオパーク」を生かしてまちづくりに取り組んだ地域の人、そして小学校から大学までESDやPBL[※]で「恐竜」や「ジオパーク」を学んできた人がつながり、いろいろな活動が生まれているんだ。

この活動が地域のまちづくり会館を拠点として行われているから「恐竜」や「ジオパーク」にとどまらず、地域ごとに個性的で新しいプロジェクトがどんどん生まれている。ついこの前も新しいコミュニティビジネス[※]が生まれたんだっけ。

勝山に関わる誰もが将来への希望を持って楽しく暮らしているから、最近移住を考えている人が増えているみたい。やっぱり勝山最高！



そして「10年後のまちの姿」に掲げる勝山市の実現のため、市民一人ひとりが未来を展望し、誰もが住みたくなるまちを築くために、次のとおり市民憲章を掲げます。

勝山市 市民憲章

勝山市は、雄大な九頭竜川の流れて抱かれた豊かな自然のなかで、伝統、文化、産業を育んできたまちです。

わたしたちは、この美しい郷土を愛し、誰もが安心して暮らせる希望と活力あふれる未来を実現するため、ここに市民憲章を定め行動します。

1. わたしたちは いつも共につながり合い **地域の未来** を創ります
2. わたしたちは いつも気持ちを高め合い **まちの楽しさ** を創ります
3. わたしたちは いつもお互いを支え合い **暮らしの安全安心** を守ります
4. わたしたちは いつもお互いを理解し **力を合わせる心** を大切にします
5. わたしたちは いつも夢をもち **チャレンジする心** を大切にします